



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231
 企業不動産企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (法人向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,751	△20.4	155	△59.7	193	△50.6	61	△68.2
25年3月期第2四半期	14,760	—	385	—	392	—	192	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 151百万円(△11.6%) 25年3月期第2四半期 171百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.40	—
25年3月期第2四半期	16.99	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,272	10,127	44.2
25年3月期	25,264	10,072	38.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,848百万円 25年3月期 9,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		7.50		7.50	15.00
26年3月期		7.50			
26年3月期(予想)			—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△6.5	1,230	△3.4	1,300	△3.5	686	△11.2	60.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	12,400,000株	25年3月期	12,400,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,053,586株	25年3月期	1,053,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	11,346,414株	25年3月期2Q	11,346,416株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 参考情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が大企業を中心に改善しつつあり、設備投資は一部の業種で持ち直しの傾向が見られるなど、景気は、着実に持ち直し、緩やかに回復しつつある状況となりました。一方で海外景気の動向が、国内景気を下押しするリスクも存在しており、注意を要する状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るように努めました結果、売上高は117億51百万円となり、前年同四半期と比べ30億8百万円(△20.4%)の減収となりました。

営業利益は1億55百万円となり、前年同四半期と比べ2億30百万円(△59.7%)の減益となりました。

経常利益は、営業外収支で38百万円収益が上回ったため1億93百万円となりましたが、前年同四半期と比べ1億98百万円(△50.6%)の減益となりました。

四半期純利益は、特別損失に土地等の減損損失64百万円を計上したため、61百万円となり、前年同四半期と比べ1億31百万円(△68.2%)の減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

資源・金属素材関連では、中国経済の先行きと資源価格の国際市況が不安定な状況などから国内外の取引先とも慎重な状況が続き、関連部門の売上高は41億41百万円となり、前年同四半期と比べ20億99百万円(△33.6%)の減収となりました。営業利益は19百万円となり、前年同四半期と比べ1億37百万円(△87.5%)の減益となりました。

産機・建機関連では、国内設備投資が不透明な状況ながら、民間企業向け各種ポンプ類の販売および建機商品とも堅調であったため、関連部門の売上高は31億19百万円となり、前年同四半期と比べ77百万円(2.5%)の増収となりました。営業利益は4億50百万円となり、前年同四半期と比べ47百万円(11.9%)の増益となりました。

環境設備関連では、環境関連商品は比較的堅調に推移するも、大口売上がなかったため、関連部門の売上高は5億8百万円となり、前年同四半期と比べ1億62百万円(△24.2%)の減収となりました。営業利益は45百万円となり、前年同四半期と比べ74百万円(△62.3%)の減益となりました。

化成品関連では、商品を販売する取引先に好不調があるなかで、取引効率の見直しを進めていることもあり、関連部門の売上高は39億3百万円となり、前年同四半期と比べ8億34百万円(△17.6%)の減収となりました。営業利益は32百万円となり、前年同四半期と比べ19百万円(△37.9%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、当社グループの一体化した運営を進め、効率を改善したことから、関連部門の売上高は78百万円となり、前年同四半期と比べ11百万円(16.9%)の増収となりました。営業利益は35百万円となり、前年同四半期と比べ25百万円(247.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は222億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億91百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は134億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億26百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金で17億23百万円、商品及び製品で9億62百万円の減少等によるものです。

固定資産は88億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加しました。

これは主に、土地等の減損損失64百万円の減少等があったものの、投資その他の資産のその他で1億27百万円(保険積立金)の増加等によるものです。

(負債)

流動負債は84億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億49百万円減少しました。

これは主に、支払手形及び買掛金で12億74百万円、短期借入金で7億90百万円、未払法人税等で3億43百万円の減少等によるものです。

固定負債は36億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億97百万円減少しました。

これは主に、社債及び長期借入金で5億82百万円(純額)の減少等によるものです。

(純資産)

純資産は101億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。

これは主に、その他有価証券評価差額金47百万円の増加等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、(資金)という。)の残高は、19億78百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により発生した資金の増加は14億50百万円となりました。(前年同四半期は20億47百万円の減少)これは主に、仕入債務の減少12億74百万円の資金の減少等がありましたが、売上債権の減少17億23百万円、たな卸資産の減少9億58百万円の資金の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により発生した資金の減少は1億18百万円となりました。(前年同四半期は2億55百万円の減少)これは主に、保険積立金97百万円の資金の減少等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により発生した資金の減少は14億75百万円となりました。(前年同四半期は19億31百万円の増加)これは主に、短期借入金(純額)の返済7億90百万円、社債の償還4億20百万円の資金の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、投資の増加傾向が続く、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される状況となりましたが、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連及び化成品関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,122	1,978
受取手形及び売掛金	8,884	7,161
商品及び製品	4,997	4,035
原材料及び貯蔵品	25	29
繰延税金資産	177	162
その他	262	75
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	16,466	13,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,221	3,124
減価償却累計額	△1,696	△1,669
建物及び構築物（純額）	1,524	1,455
機械装置及び運搬具	347	227
減価償却累計額	△310	△195
機械装置及び運搬具（純額）	37	32
土地	4,730	4,675
その他	1,721	1,675
減価償却累計額	△1,675	△1,632
その他（純額）	45	42
有形固定資産合計	6,338	6,205
無形固定資産		
のれん	102	89
その他	107	106
無形固定資産合計	210	196
投資その他の資産		
投資有価証券	1,479	1,559
繰延税金資産	110	85
その他	674	803
貸倒引当金	△16	△18
投資その他の資産合計	2,248	2,430
固定資産合計	8,797	8,832
資産合計	25,264	22,272

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,856	3,582
短期借入金	3,740	2,950
1年内返済予定の長期借入金	357	360
1年内償還予定の社債	1,040	1,020
未払法人税等	403	59
賞与引当金	205	189
その他	299	290
流動負債合計	10,901	8,451
固定負債		
社債	2,034	1,634
長期借入金	1,221	1,039
退職給付引当金	437	406
繰延税金負債	429	438
その他	167	174
固定負債合計	4,290	3,693
負債合計	15,191	12,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,623	1,623
利益剰余金	6,590	6,566
自己株式	△315	△315
株主資本合計	9,752	9,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	119
繰延ヘッジ損益	△23	0
その他の包括利益累計額合計	48	120
少数株主持分	271	278
純資産合計	10,072	10,127
負債純資産合計	25,264	22,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,760	11,751
売上原価	12,768	10,027
売上総利益	1,991	1,723
販売費及び一般管理費	1,606	1,568
営業利益	385	155
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	13	18
受取家賃	19	18
保険返戻金	—	29
その他	29	8
営業外収益合計	64	77
営業外費用		
支払利息	24	17
社債利息	16	15
保険解約損	5	—
持分法による投資損失	—	1
その他	11	4
営業外費用合計	58	39
経常利益	392	193
特別利益		
固定資産売却益	9	1
その他	0	—
特別利益合計	9	1
特別損失		
固定資産売却損	—	2
減損損失	—	64
投資有価証券評価損	54	—
その他	3	2
特別損失合計	57	69
税金等調整前四半期純利益	343	125
法人税等	145	58
少数株主損益調整前四半期純利益	198	67
少数株主利益	5	5
四半期純利益	192	61

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198	67
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	60
繰延ヘッジ損益	△4	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	△27	84
四半期包括利益	171	151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167	142
少数株主に係る四半期包括利益	4	8

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	343	125
減価償却費	84	76
減損損失	—	64
のれん償却額	12	12
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△45	△31
賞与引当金の増減額（△は減少）	△67	△15
受取利息及び受取配当金	△16	△21
支払利息及び社債利息	40	32
持分法による投資損益（△は益）	△8	1
固定資産除売却損益（△は益）	△9	1
投資有価証券評価損益（△は益）	54	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	—
売上債権の増減額（△は増加）	162	1,723
たな卸資産の増減額（△は増加）	△489	958
未収入金の増減額（△は増加）	0	130
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,319	△1,274
未払金の増減額（△は減少）	△195	△25
預り金の増減額（△は減少）	△33	△14
未収消費税等の増減額（△は増加）	29	71
その他	△3	28
小計	△1,465	1,846
利息及び配当金の受取額	23	27
利息の支払額	△41	△31
法人税等の支払額	△563	△391
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,047	1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△353	△25
有形固定資産の売却による収入	9	39
無形固定資産の取得による支出	△11	△22
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	1	—
投資有価証券の償還による収入	101	—
貸付けによる支出	—	△3
貸付金の回収による収入	1	0
保険積立金の積立による支出	△99	△97
保険積立金の払戻による収入	97	—
その他	0	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255	△118

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,928	△790
長期借入れによる収入	279	—
長期借入金の返済による支出	△321	△179
社債の発行による収入	890	—
社債の償還による支出	△730	△420
配当金の支払額	△113	△85
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,931	△1,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△371	△143
現金及び現金同等物の期首残高	2,051	2,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,680	1,978

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,241	3,041	670	4,738	67	14,759	0	14,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,241	3,041	670	4,738	67	14,759	0	14,760
セグメント利益	157	402	119	51	10	741	0	741

（注）その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に事務代行手数料であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	741
その他の区分の利益	0
全社費用(注)	△355
四半期連結損益計算書の営業利益	385

（注）全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、既存3事業（資源・金属素材関連）（産機・建機関連）（環境設備関連）の更なる拡大及び深化とともに新たな収益基盤の確立を図るため、イズミ株式会社を前連結会計年度末日をみなし取得日として連結子会社としましたので、（化成品関連事業）を報告セグメントに追加いたしました。

また、イズミ株式会社は不動産賃貸収入を有しており、加えて平成23年10月に竣工した当社本社ビルの一部を賃貸していることから、（不動産賃貸関連事業）を報告セグメントに追加いたしました。したがって、新報告セグメントは、（資源・金属素材関連）（産機・建機関連）（環境設備関連）（化成品関連）（不動産賃貸関連）に変更しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	合計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,141	3,119	508	3,903	78	11,751	11,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,141	3,119	508	3,903	78	11,751	11,751
セグメント利益	19	450	45	32	35	582	582

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	582
全社費用(注)	△427
四半期連結損益計算書の営業利益	155

（注）全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「産機・建機関連」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては64百万円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成26年3月期第2四半期の個別業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,799	△21.9	98	△69.4	156	△54.3	56	△68.0
25年3月期第2四半期	9,980	△7.2	323	△40.0	341	△38.9	176	△35.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.95	—
25年3月期第2四半期	15.47	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,599	9,358	53.2	820.94
25年3月期	20,328	9,317	45.8	817.42

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,358百万円 25年3月期 9,317百万円